

# NEWS RELEASE



【報道関係各位】

2018年 12月 14日  
一般財団法人 日本気象協会

## 平成最後の年末年始は北日本の日本海側で大雪に注意！

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、2018年から2019年の年末年始（2018年12月29日（土）頃から2019年1月3日（木）頃）の天気傾向に関する情報を発表します。

### ◇年末年始（12月29日頃～1月3日頃）の天気傾向

- 寒気の影響を受ける北日本を中心に日本海側では大雪に注意。
- 東日本以西では気温は平年並み。
- 奄美・沖縄はくもりや雨の日が多く気温は高め。

2018年12月14日 発表

JWA 日本気象協会

## 年末年始の天気傾向



	天 気 傾 向	コ メ ン ト
北海道～九州の 日本海側		<ul style="list-style-type: none"><li>・ くもりや雪または雨の日が多い</li><li>・ 気温は北日本で平年並みか低く、北陸以西で平年並みの見込み</li><li>・ 北日本や山沿いで大雪の恐れ</li></ul>
北海道～九州の 太平洋側		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 晴れの日が多い</li><li>・ 気温は北日本で平年並みか低く、関東以西で平年並みの見込み</li></ul>
奄美・沖縄 (南西諸島)		<ul style="list-style-type: none"><li>・ くもりや雨の日が多い</li><li>・ 気温は平年並みか高い見込み</li></ul>

年末年始：2018年12月29日頃～2019年1月3日頃

年末年始（12月29日頃～1月3日頃）の日本付近は、西高東低の冬型の気圧配置となる日が多く、北日本を中心に寒気の影響を受ける見込みです。

北海道から九州の日本海側は冬型の気圧配置となるため、くもりや雪または雨の日が多いでしょう。帰省やUターンなどの際は、タイヤチェーンを携行し交通情報で雪による影響を確認してください。気温は北日本で平年並みか低く、北陸以西で平年並みでしょう。

北海道から九州の太平洋側は、全般に晴れる日が多いでしょう。気温は北日本太平洋側で平年並みか低く、関東以西で平年並みの見込みです。

一方、奄美・沖縄ではくもりや雨の日が多く、気温は平年並みか高いでしょう。



### 【各地域の天候のポイント】

#### ◇北海道～九州の日本海側

- ・北日本を中心に寒気の影響を受けるため、北日本や山沿いでは大雪の恐れがあります。
- ・大雪による車の立ち往生が毎年のように発生しています。車でお出かけの際は、最新の気象情報や交通情報をご確認ください。
- ・気温は北日本で平年並みか低いですが、北陸以西では平年並みの見込みです。

#### ◇北海道～九州の太平洋側

- ・乾燥した晴れの日が多いでしょう。
- ・気温は寒気の影響を受ける北日本は平年並みか低いですが、関東以西では平年並みの見込みです。
- ・空気が乾燥して火災の起こりやすい気象条件が続くでしょう。火の取り扱いには十分ご注意ください。

#### ◇奄美・沖縄（南西諸島）

- ・くもりや雨の日が多いでしょう。
- ・気温は暖かな空気に覆われやすいため平年並みか高い見込みです。

本情報は2018年12月14日時点の予測資料から作成したものです。最新の気象情報は日本気象協会の天気予報専門メディア「[tenki.jp](https://tenki.jp/)」<https://tenki.jp/> でご確認ください。

以 上